

テレビドアホン

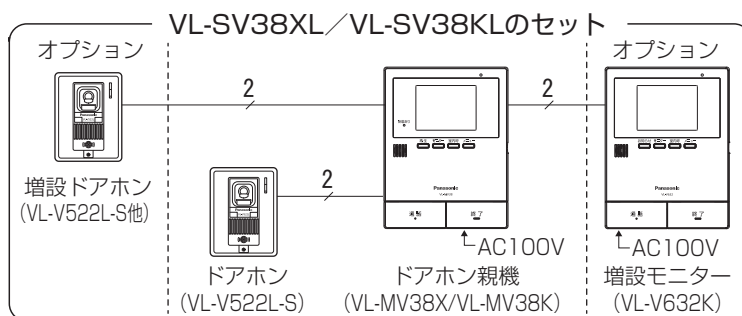
品名 **テレビドアホン 2-2 タイプ** 品番 VL-SV38XL (電源直結式)
VL-SV38KL (電源コード式)

概要

本機は、モニター親機（ドアホン親機）とカメラ玄関子機（ドアホン）からなる、録画機能付きシンプルデザインのテレビドアホンです（2-2 タイプ）。

増設モニター（1台）やドアホン（1台）を増設することにより、簡易2世帯対応が可能です。

またドアホン親機に非常ボタンを接続することができます。緊急時、非常ボタンを押すと、宅内のドアホン親機と屋外のドアホンが非常ボタンの呼び出しを通知します。



特長・機能

(1) 約 3.5 型カラー液晶ディスプレイ搭載のモニター親機

奥行約 23.5 mm の薄型設計とシンプルデザインにより、インテリアに調和します。

(2) 録画機能

来客があった際、ドアホンからの来客映像を約 1 秒おきの連続画像（最大 8 枚の静止画）で自動で録画します（最大 50 件）。録画した映像を、帰宅後確認できます。

- 再生ボタンを押すと、日時の新しい画像から、録画時間（日付／時刻）とともに表示します。
- 着信中は自動で録画されます。モニター時は必要に応じて手動で録画できます。
- 消去したくない画像を最大 20 件保護できます。

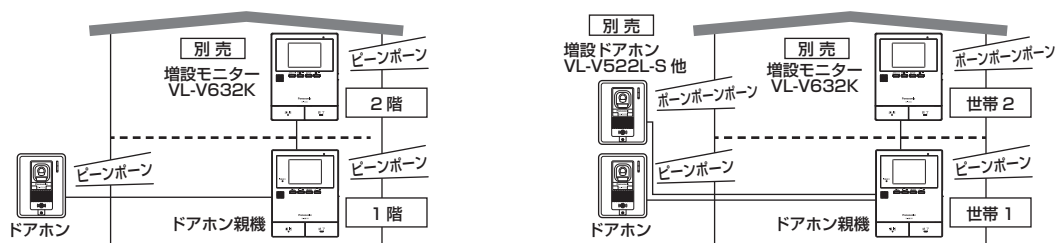
(3) ドアホン（カメラ玄関子機 VL-V522L-S）露出型スタンダードカメラ・LED 付

夜間などで周囲が暗い条件下では、ドアホンの LED ライトが自動点灯し、来訪者をカラーで確認できます。

- 標準レンズ（左右約 87°、上下約 66°）を採用しました。
- カメラレンズの角度を最大 15°（左右、上向き方向）の範囲内で自由に調節できます。
- 位置表示 LED で、夜間でも呼出ボタンの位置がわかります。

(4) 増設モニター（※、*1）やドアホンの増設で、簡易2世帯対応が可能

- 2台目の室内モニターとして、増設モニター1台を接続できます。2階などでも来客対応が可能です。1階のドアホン親機と室内通話することもできます。
- ドアホンをもう1台増設できます。ドアホン別に鳴り分け（*2）ができる簡易2世帯対応です。



*1 増設モニターでの録画再生はできません。

*2 鳴り分け・・・ドアホンを2台接続し、増設モニターと連携している場合は、ドアホン親機、増設モニターごとに着信させるドアホンを、ドアホン親機で指定することができます。

概要／特長・機能

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

(5) 非常ボタン^(※)の接続

ドアホン親機に非常ボタンを接続できます。緊急時、非常ボタンを押すと、宅内のドアホン親機と屋外のドアホンが非常ボタンの呼び出しを通知します。

- ドアホン親機は通知音と画面表示（非常ボタンが押されました）で宅内に知らせます。
- ドアホンは、ドアホン親機の設定により、通知音および LED 点滅で屋外に知らせます。
ドアホン親機の設定：LED ライト点滅＋警報音 / LED ライト点滅のみ / 警報なし
- 通知音量は設定している呼出音量にかかわらず、最大音量^(※1)「ピロピロピロピロピローン」で鳴ります。
- 通知音およびモニター表示、ドアホンの LED による通知は通知開始から約 5 秒経過後、ドアホン親機で停止できます。
- 通知音は通知開始から約 10 分経過後、自動的に終了します。
- * 増設モニター VL-V632K を接続していると、ドアホン親機と同様に動作します。
- * モニター表示や LED による通知は、ドアホン親機や増設モニターの「終了」ボタンを押すまで続きます。
- * ドアホン 1、ドアホン 2 を接続していても、通知できるのはドアホン 1 だけです。
- * 非常ボタンからの通知はドアホン呼び出しよりも優先されます。
- * 非常ボタンからの通知音を止めたあとは、非常ボタンを元の状態に戻してください。
- * 1 音圧 70dB 以上（ドアホン、ドアホン親機正面前方 1 m）
（接続は 10 台まで）

(6) 電話／ファクス^(※)、インターホン^(※)で来客応対

ドアホンアダプター VE-DA10-H^(※)を介して、電話／ファクスを接続すると、電話／ファクスでドアホン呼び出しに応答できます。ドアホン親機の画面を見ながら、来訪者と通話できます。またドアホンアダプターに替えて、インターホンを接続することもできます。

- * インターホン（電話／ファクス含む）とドアホン親機（増設モニター含む）の間では室内通話はできません。
（接続はドアホンアダプター、インターホンのいずれか 1 台のみ）

(7) 呼出音増設用スピーカーの接続

ドアホン親機に呼出音増設用スピーカー VL-862W^(※)（1 台）を接続すると、ドアホンからの呼び出し時に、増設用スピーカーからも呼出音が鳴ります。ドアホン親機から離れた部屋で使うと便利です。

(8) 住宅用火災警報器（移報接点付き）^(※)の接続

ドアホン親機に住宅用火災警報器を接続できます。火災発生等で警報器が反応すると、警報器と連動してドアホン親機や増設モニターからも通知音と画面表示（赤点灯）でお知らせします。

単独型住宅用火災警報器（移報接点付き）は、並列接続で 15 台まで使用できます。

また単独型に替えて、連動型住宅用火災警報器も接続できます。その場合、移報接点アダプタ^(※)を 1 台介して連動型火災警報器を最大 14 台まで接続可能です。

(9) その他の機能・特長

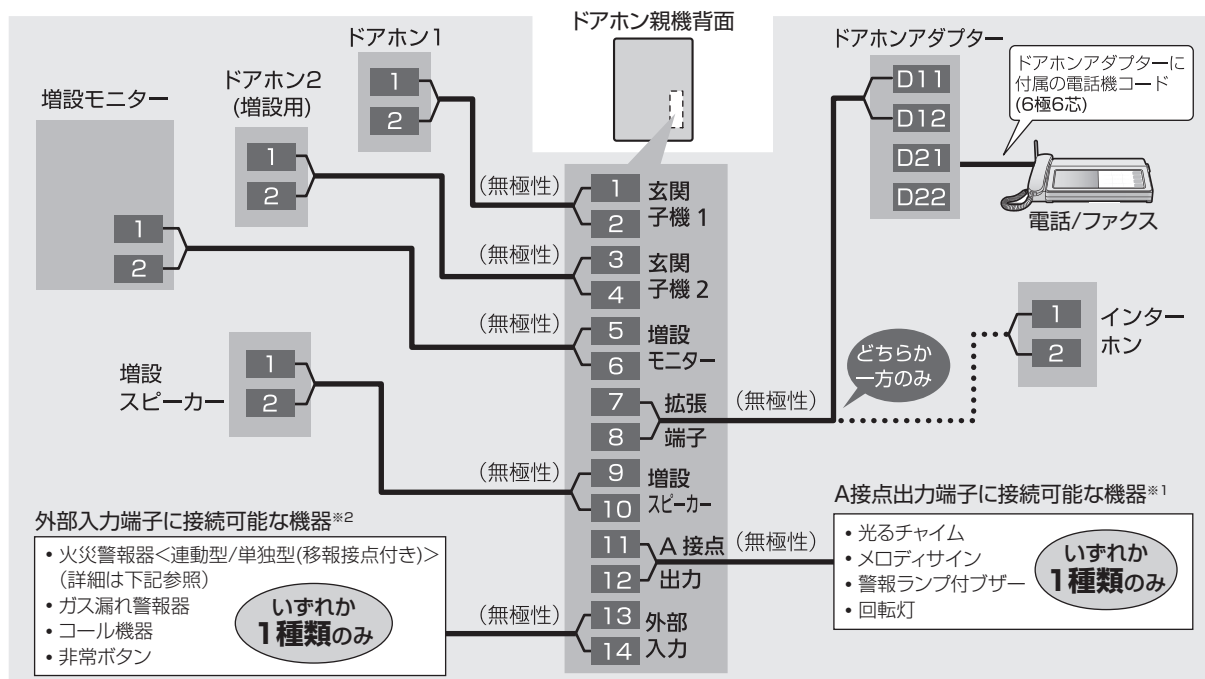
コール機器^(※)、光るチャイム^(※)などと連携ができます。

モニター機能	モニターボタンを押すと、ドアホン周辺の様子を映像と音で約 3 分間確認できます。
ただいまコール機能	ドアホンの呼出ボタンを押した状態で、約 3 秒後に室内呼びかけができます。
呼出音の変更	ドアホンからの呼出音（音の種類と鳴りかた）を変更できます。
呼出音量調節	ドアホンや室内呼び出しからの呼出音量をそれぞれ別々に設定できます。
受話音量調節	ドアホンとの通話やモニターで室内側に聞こえる音量を変更できます。
送話音量調節	ドアホンとの通話で玄関（ドアホン側）に聞こえる室内音声の音量を変更できます。

※特長・機能に記載されている対応機種は本書（P.5）

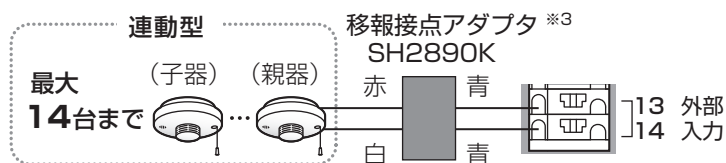
特長・機能			
セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品 名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

配線系統図



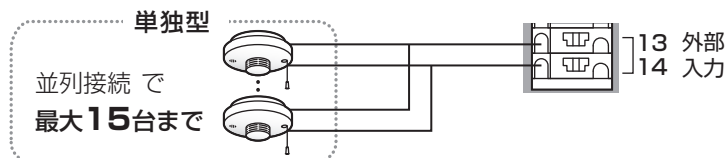
火災警報器を接続するとき（火災警報器のタイプによって接続方法が異なります）

■ 連動型の場合：移報接点アダプタが必要です



- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。(故障の原因)
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。(故障の原因)

■ 単独型（移報接点付き）の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、外部入力端子への入線は、1 端子あたり 1 本にしてください。

- ※ 1 ●下記の定格に適応した機器を接続してください。並列接続はできません。(故障の原因になります)
 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA
 ●接続した機器の動作については、本機の取扱説明書および接続機器の説明書をお読みください。
- ※ 2 ●下記の定格に適応した機器を接続してください。(A 接点 / B 接点のどちらの接点種別でも接続いただけます)
- | | | | |
|----------|------------|----------|------------------|
| ●入力方式 | : 無電圧メーク接点 | ●端子間開放電圧 | : DC 7 V 以下 |
| ●検出確定時間 | : 0.1 秒以上 | ●接点抵抗値 | メーク時 : 500 Ω以下 |
| ●端子間短絡電流 | : 5 mA 以下 | | ブレーク時 : 15 k Ω以上 |
- 接続した機器をご使用になるには、接続機器の種別に合わせて「外部入力」設定の変更が必要です。
- ※ 3 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290K」を接続することもできます。
- ・ドアホン親機と「SH3290K」間は有線接続です。
 - ・「SH3290K」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。
 - ・設置の際は、ドアホン親機を移報接点アダプタと火災警報器から、それぞれ 1 m 以上離してください。(近接すると、移報接点アダプタと火災警報器間の電波到達距離が短くなる場合があります)
- 詳細は、「SH3290K」の説明書をお読みください。
- ### 配線系統図

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—

配線系統図			
セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

構成品

- VL-SV38XL/VL-SV38KL の構成品です。

品名	品番	台数
ドアホン親機（モニター親機）	VL-MV38X/VL-MV38K	1
ドアホン（カメラ玄関子機）露出型	VL-V522L-S	1

別売品・連携できる機器一覧

- 記載した情報は 2016 年 1 月現在のもので、内容は追加・変更になる場合があります。

品名	品番	システム追加台数
ドアホン (カメラ玄関子機)※1	露出型 VL-V521L-S、VL-V522L-S、 VL-V522L-WS、VL-V566-S、 VL-V570L-S、VL-V572L-S	構成品と合わせて 2 台まで
ドアホン (音声玄関子機)※1	露出型 VL-V500-K	
増設モニター	VL-V631K※2、VL-V632K	1 台のみ
電話 / ファクスや インターホン	電話 / ファクス ドアホンアダプター 「VE-DA10-H (VEDA10)」※3 を 使って接続できる電話機またはファクス	いずれか 1 台のみ
	インターホン VL-A467LAK、VL-A467LAX、 VL-A468LA、VL-F411X-W	
増設スピーカー	VL-862W、EC95352	1 台のみ
A 接点出力対応の接続機器	光るチャイム※4 EC170(P)	10 台
	メロディサイン※5 乾電池式 EC5227W(P)、EC5117WKP、 AC100V 式 EC710K、EC730W	10 台
	警報ランプ付ブザー EA5501	2 台
	回転灯※6 KJS-110、KJSB-110、KES-110	1 台のみ
火災警報器	けむり当番 SHK28413、SHK38453	いずれか 1 種類 のみ
	ねつ当番 SHK28113、SHK38153	
	煙検知式 FSKJ222-S※7	
	熱検知式 FSLJ012-S※7	
移報接点アダプタ※8	SH2890K(運動型用) SH3290K(ワイヤレス運動型用)	1 台のみ
		1 台のみ
ガス漏れ警報器	SH1371、SH13928	10 台まで
コール機器(コール用押しボタン)	WS65771、WS65311	10 台まで
非常ボタン	WTF4510W、WN4500	10 台まで

※ 1 付属と異なるドアホンは仕様や機能が異なります。増設の際は事前にご確認ください。

※ 2 コール機器や非常ボタンからの通知には対応していません。

※ 3 電話 / ファクス接続時に必要です。

(本機には、配線なしで電話 / ファクスを接続するワイヤレスアダプター機能はありません)

※ 4 玄関子機・警報器・コール機器・非常ボタンに連動して鳴動します。

※ 5 オートストップ機能付きの EC5347、EC730W をお勧めします。

(オートストップ機能がない場合、30 秒間チャイムが鳴動します)

※ 6 (株)パトライト製

※ 7 能美防災(株)製

※ 8 運動型の火災警報器を接続するためのアダプタで、14 台まで火災警報器を接続できます。

(接続できる火災警報器は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください)

構成品 / 別売品・連携できる機器一覧

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

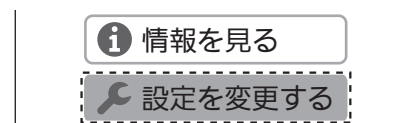
機能設定一覧（設定方法と一覧表）

待機中に、下記の操作で各種設定を変更できます。

1 【メニュー】を押す

- トップメニュー (①) が表示されます。

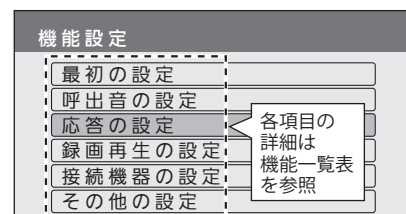
① トップメニュー



2 【モニター】(▼選ぶ) で「設定を変更する」を選び、【メニュー】(決定) を押す

- 設定の項目一覧 (②) が表示されます。

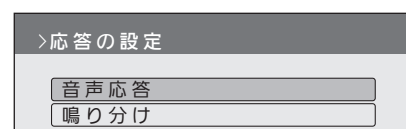
② 設定の項目一覧



3 【モニター】(▼) で設定する項目を選び、【メニュー】(決定) を押す

- 選んだ項目の機能一覧 (③) が表示されます。

③ 機能一覧 (例)



4 【モニター】(▼) で設定する機能名を選び、【メニュー】(決定) を押す

- 選んだ機能によってはサブメニューが表示される場合があります。表示に従ってこの操作を繰り返してください。

5 【モニター】(▼) で設定内容を選び、【メニュー】(決定) を押す

- 機能によってはこの操作を繰り返し行い、設定完了後に【終了】を押してください。
- 設定内容の選択時に確認メッセージが表示される場合もあります。表示に従って操作をしてください。



「●」が現在の設定

項目	機能名など		設定内容など	初期値
最初の設定	日時設定		● 日時の設定画面が出たら、現在の日付・時刻に設定します。	2015 年 1 月 1 日 0 時 00 分
呼出音の設定	呼出音量	ドアホン	大、中、小、切	大
		室内呼	大、中、小	
		外部入力 (コール機器)	大、小、切	
	呼出音	ドアホン 1～2	(音の種類)：音 1、音 2、音 3 (鳴りかた)：押すたび (押すたびに鳴る)、 繰り返し (5 秒ごとに鳴る)	(ドアホン 1) 音 1、押すたび (ドアホン 2) 音 2、押すたび

機能設定一覧（設定方法と一覧表）

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品 名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

項目	機能名など		設定内容など	初期値
応答の設定	音声応答		する、しない ● ドアホンからの呼び出しに音声応答できるようにするには「する」を選びます。(「する」に設定しても通話ボタンでの応答はできます)	しない
	鳴り分け			
	親機	ドアホン 1 ～ 2	鳴る、鳴らない	鳴る
	増設モニター 拡張機器・ ドアホン アダプター			
録画再生の設定	ドアホン録画開始時間		標準、遅い ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選びます。 「標準」：呼び出しの約 2 秒後に録画を開始 「遅い」：呼び出しの約 3 秒後に録画を開始	標準
	ドアホン自動録画	ドアホン 1 ～ 2	する、しない ● ドアホン着信時に自動録画をするかしないかを選びます。	する
	画像全消去	本体メモリー	すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—
接続機器の設定	ドアホン接続	ドアホン 1 ～ 2	あり、自動判定、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	(ドアホン 1) あり (ドアホン 2) 自動判定
	増設モニター		あり、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	あり
	A 接点出力	ドアホン 1 ～ 2	ON、OFF ● 光るチャイムなど A 接点出力端子に接続した機器は、この設定が「ON」のドアホン着信に連動します。 連動させたくないドアホンは「OFF」に設定してください。	ON
	外部入力		(接続する機器)：警報器、コール機器、非常ボタン (接点種別)：A 接点 (メーク)、B 接点 (ブレイク) (非常ボタンからドアホンへの警報通知)： LED ライト点滅+警報音、LED ライト点滅のみ、警報なし ● 外部入力端子に接続する機器の種類と接点種別を選びます。非常ボタンを選んだときは、ドアホンへの警報通知の方法も設定できます。	警報器、 A 接点 (メーク)
	ドアホン照明自動点灯	ドアホン 1 ～ 2	(設定場面)：来客時、モニター時 (設定内容)：する、しない ● ドアホンの映像表示の際 (来客時やモニター時)、外が暗いときに自動でドアホンの照明 (LED ライト) を点灯させるかどうかを選びます。	する
	新着ありランプ点灯		する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、新着ありランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
その他の設定	初期化		設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—
	展示モード (販売店専用)		ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、しない 通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用)	しない

機能設定一覧 (設定方法と一覧表)

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品 名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

線種と配線距離について

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線 種	配線距離 (総延長)
ドアホン ～ ドアホン親機 ～ 増設モニター ※	インターホン用平行 2 線式ケーブル 単芯線 (mm) : ϕ 0.65 ～ ϕ 0.9	100 m 以内
ドアホン親機 ～ ドアホンアダプター またはインターホン		75 m 以内
ドアホン親機 ～ 増設スピーカー		
ドアホン親機 ～ A 接点出力端子に 接続可能な機器	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線 (mm) : ϕ 0.65 ～ ϕ 0.9	接続する機器の 仕様に従う
ドアホン親機 ～ 外部入力端子に 接続可能な機器		50 m 以内

※増設モニターを接続する場合は、「ドアホン」～「ドアホン親機」～「増設モニター」間の配線距離の合計が 100 m 以内になるように配線してください。

線種と配線距離について

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品 名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

使用上のお願い

■ プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

■ 個人情報について

本機では、来客映像などの録画データ（個人情報）が、ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）に記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）に記録された録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、「初期化」の「出荷時に戻す」を行い、ドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。
 - ・故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

「初期化」の「出荷時に戻す」を行い、ドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。

設置上のお願い

■ 設置場所について

■ こんなところには設置しない（故障や動作障害などの原因になります）

〈ドアホン・ドアホン親機共通〉

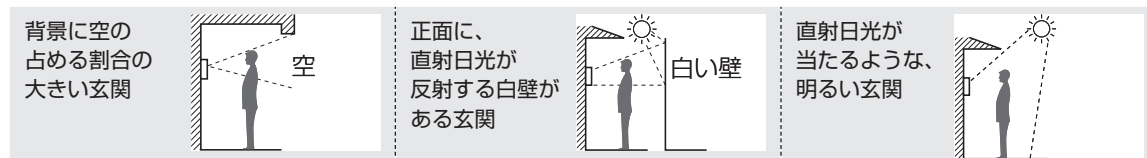
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈ドアホン親機〉

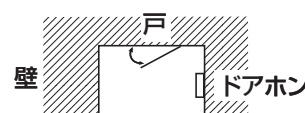
- 火気・熱器具・冷暖房機の近くや直射日光の当たるところ（誤動作・変形・故障の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコンなどの近く（故障や動作障害などの原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）

■ ドアホンの設置について

- 底面の水抜き穴をふさいだり、北向きに設置すると結露しやすくなります。
 - ・ ドアホン周囲の温度差によって、ドアホンのレンズカバーが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
 - ・ 断熱材（発泡スチロールなど）を用いて、壁の穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。
- 逆光になる場所への設置は避けてください。（来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）



- 右図のように反響の多い場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。
- ドアホンの防水性は IPX3 ※です。
 - ※ 鉛直から両側に 60 度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

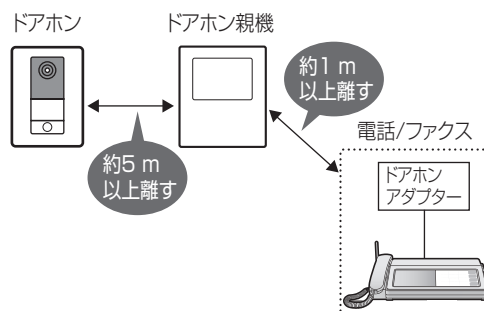


使用上のお願い / 設置上のお願い

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

■ ドアホン親機の設置について

- 本体の上下左右に 20 cm 以上の空間をとってください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。
- 右図のように、ドアホンとの間は約 5 m 以上、別売の電話 / ファクス (ドアホンアダプター含む) との間は約 1 m 以上離してください。(ハウリングなどの通話障害や通話の途切れ防止)
- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。



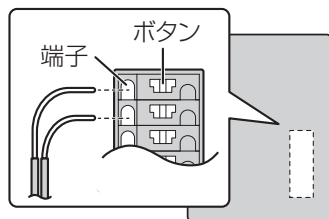
工事について (工事には、電気工事士の資格が必要です。)

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) に容易に手が届くこと。
 - (2) 3 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線 2 線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値 (直流ループ抵抗) を測定のうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 M Ω 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内 (配線距離 100m 以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁 (電源線とその他の信号配線材の間) を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
 - ・配線材は AC600V 以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC100V 以上の電力線 (電灯線) とは 1m 以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。(映像の乱れや通話ノイズなどの防止)
- ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
(接続できる線種などについては本書 (P.8) 「線種と配線距離」)

< ドアホン親機背面 >



配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを 9 mm むく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。
- 既存のチャイム、ベル、ブザーの配線を利用してテレビドアホンに切替える場合は、電池式のチャイム、ベル、ブザー以外は配線に AC100 V が流れている場合がありますので、これを取り除いてから接続してください。(AC100 V を取り除くには電気工事士資格が必要です)
- 工事完了後、または接続を変更したときには、必ず呼出し、通話などの動作を確認してください。

設置上のお願い

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品 名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

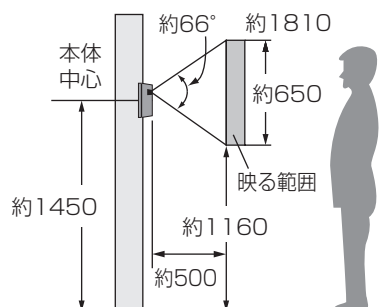
ドアホンの取り付け位置を決める

ドアホンの取り付け位置（高さ）と撮影範囲

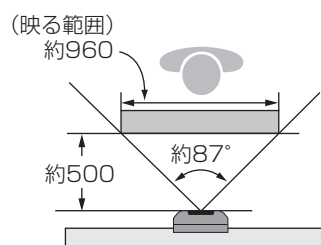
■ カメラ角度0°（正面）のとき <お買い上げ時>

（単位：mm）

標準位置（本体中心までの高さが約 1450 mm）に設置する場合



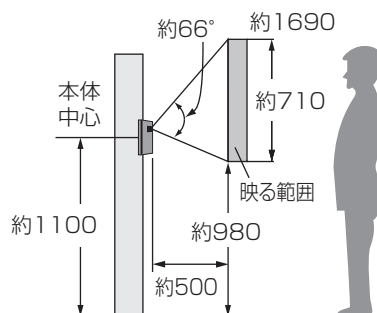
【上から見た場合】



右図のように、標準位置より低い位置や、左または右に離れた位置に設置する場合には、カメラ角度調節レバーで、撮影範囲を調節できます。

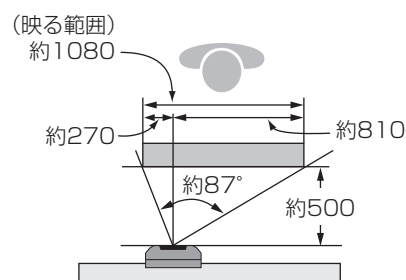
■ カメラ角度15°（上向き）のとき

本体中心までの高さが約 1100mm に設置する場合



■ カメラ角度15°（左右）のとき※

正面より左または右に離れた位置に設置する場合（例：左向き 15°）

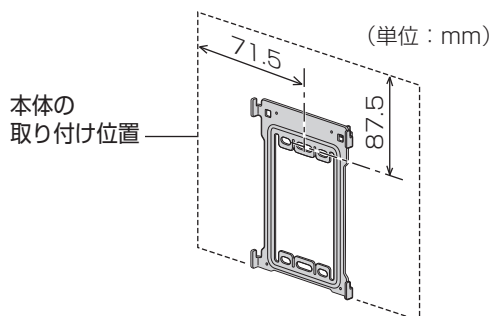
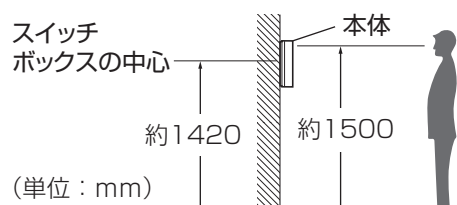


※上向き 15° の場合、左または右向きに約 7° まで

ドアホン親機を取り付け位置を決める

本体と壁掛け金具の取り付け位置

- 本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。
（右図は、床から約 1500 mm の高さに画面の中心がくるように取り付けるときの例です）
- 本体の上下左右には、下記のための空間を 20 cm 以上とってください。
 - 誤動作や通話の途切れ防止
- 本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください



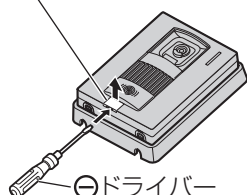
ドアホン/ ドアホン親機を取り付け位置を決める

セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

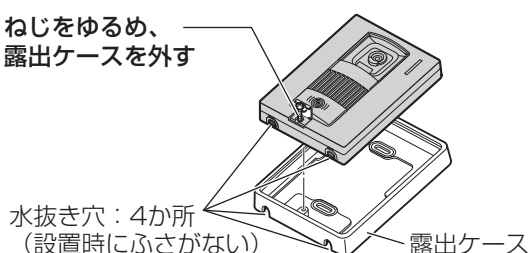
ドアホンを取り付ける

1 露出ケースを外す

① ねじカバーを開ける

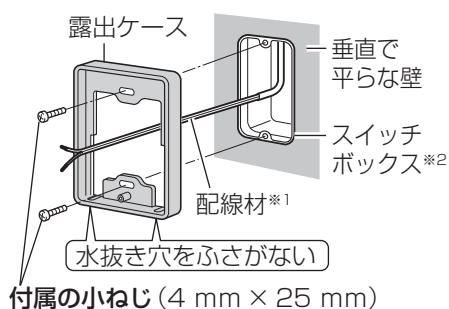


② ねじをゆるめ、
露出ケースを外す



2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



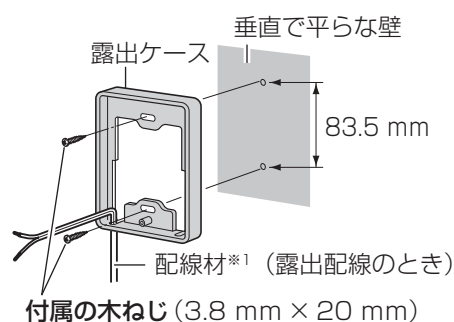
※ 1 〈既設の配線を使用する場合〉

- 壁の中から出ている配線材が「3 本線またはそれ以上」「直径 1.6 mm 以上の単線」「断面積 1 mm²以上のより線」のときは、電源線 (AC100 V など) の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。

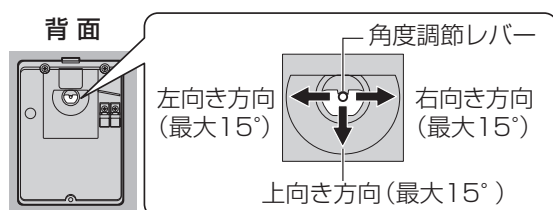
※ 2 JIS 1 個用スイッチボックス

底面に穴 (スリット) がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

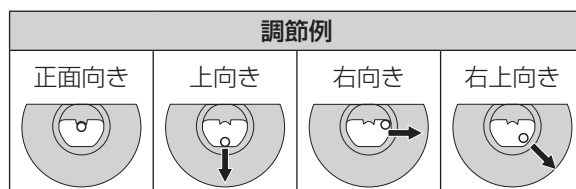
■ 壁の場合



3 カメラレンズの角度を調節する



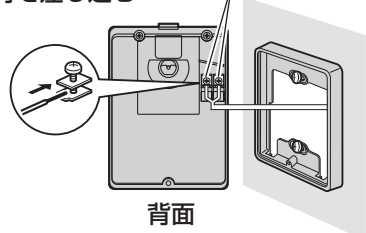
最大 15° の範囲内で、自由な角度に調節できます。



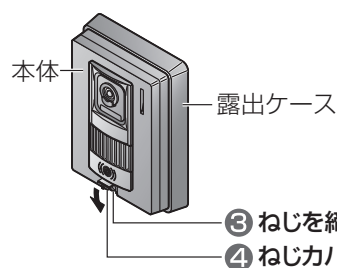
- 「左向き」、「左上向き」にも調節できます。
- 「左上向き」または「右上向き」に設定すると、画像がひずむことがあります。

4 本体に配線材を接続し、本体を取り付け、固定する

① ねじをゆるめ、
配線材を差し込む



② ねじを締める※3



③ ねじを締める※3

④ ねじカバーを閉める

※ 3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを 0.7 N・m (7 kgf・cm) 以下に設定してから固定してください。

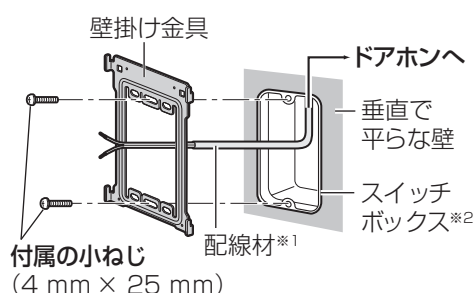
ドアホンを取り付ける

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

ドアホン親機を取り付ける

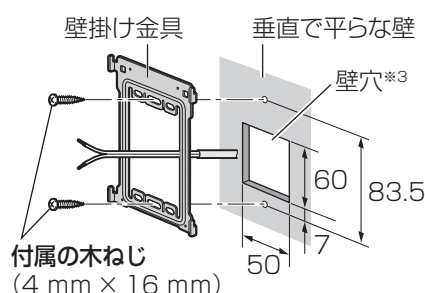
1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合

(単位：mm)



※ 1 〈既設の配線を使用する場合〉

- 壁の中から出ている配線材が「3 本線またはそれ以上」「直径 1.6 mm 以上の単線」「断面積 1 mm²以上のより線」のときは、電源線 (AC100 V など) の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホン親機に接続すると、機器が壊れます。

※ 2 JIS 1 個用スイッチボックス

電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※ 3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

■ パネル壁 (石こうボード) の場合

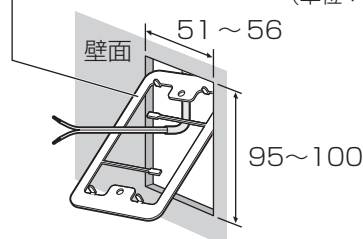
壁に下図のように穴を開け、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

はさみ金具：パナソニック (株) 製

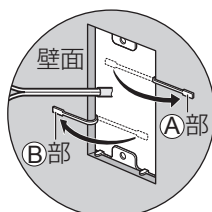
品番	対象壁
WN3996020 (20 個入り) ※	9 mm ~ 30 mm 厚の 石こうボード

※単品でのお取り扱いについては、販売店にお問い合わせください。

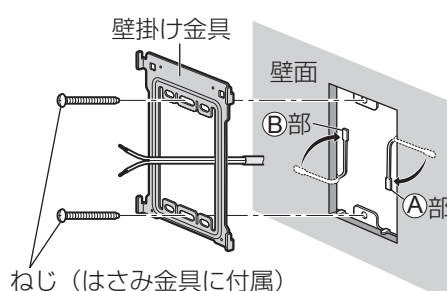
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる (単位：mm)



② ①部・②部を図のように折り曲げ、はさみ金具を壁面に仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで仮止めする



④ ①部・②部を壁端面まで戻し、ねじを締めて固定する

- ①部・②部を、壁掛け金具と壁面に挟み込まないようにしてください。

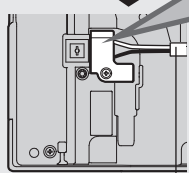
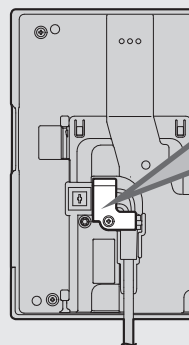
ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

AC100 V 電源線を直結する場合のみ（電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください）

2 電源コードを取り外し、AC100 V 電源線を接続する

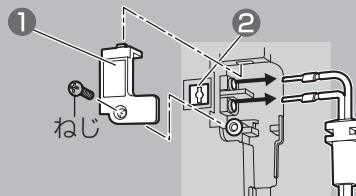
＜ドアホン親機背面＞



電源線は必ず横向きに引き出してください。

① カバーを取り外す

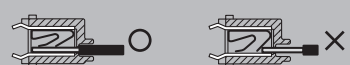
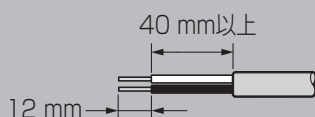
② ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す



③ AC100 V 電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく
(線種:φ1.6~φ2.0単芯線)

2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



＜AC100 V 電源線接続端子断面図＞

④ カバーを取り付ける

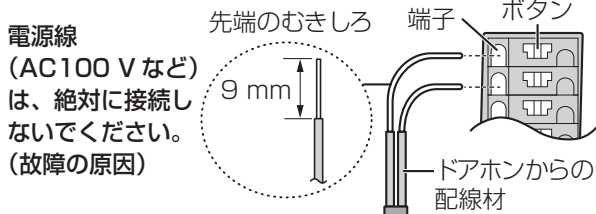
注意

奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

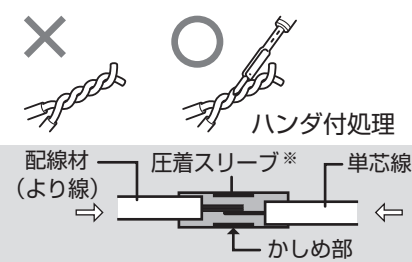
3 配線材を接続する

- 配線系統図に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。

ドアホン親機背面

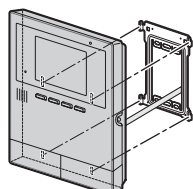


- 配線材の線種が「より線」の場合
単芯線と結線して使用する
結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線（50 mm 以上）と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。（結線部をよじただけでは、接触不良になるおそれがあります）

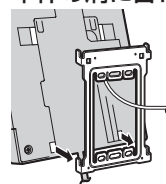


※手順 4 で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

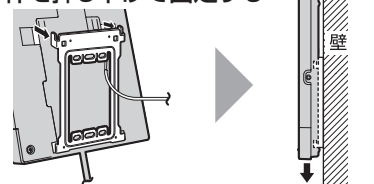
4 ドアホン親機を取り付ける



① 金具の下ツメを本体の溝に合わせる



② 金具の上ツメを本体の溝に合わせ、本体を押し下げて固定する



5

〔電源プラグで使用する場合のみ〕

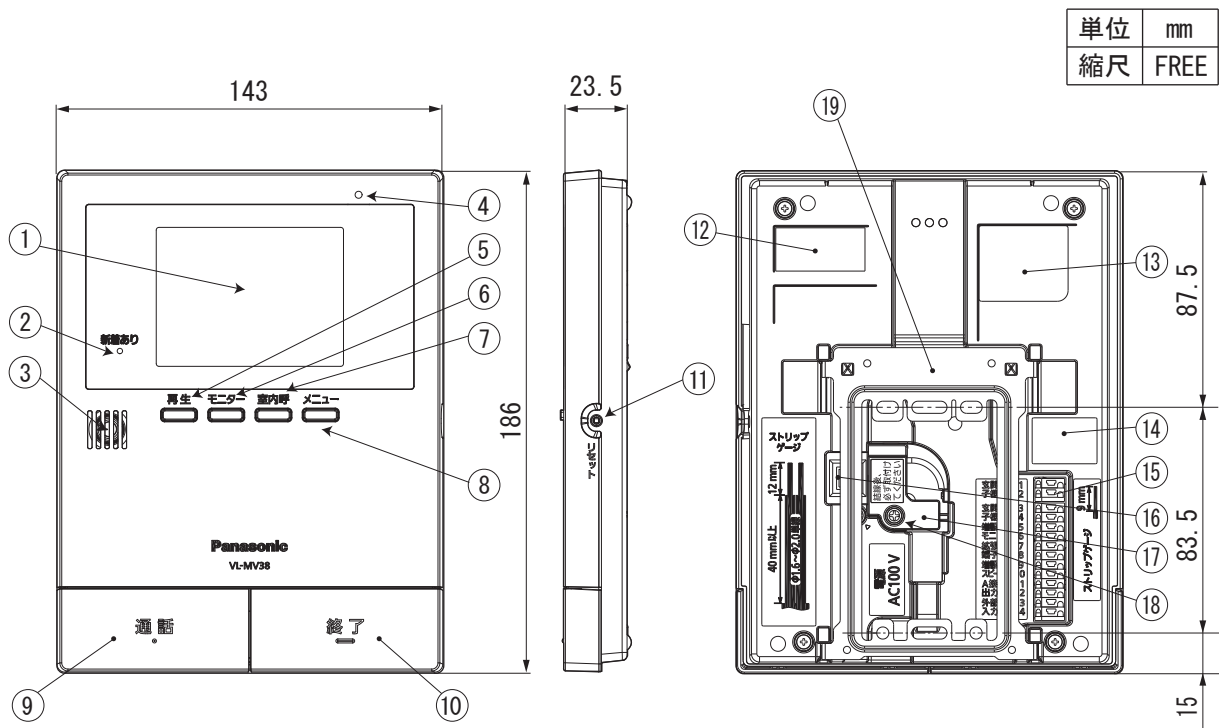
電源プラグのキャップを外して、コンセント（AC100 V）に差し込む

- 落雷による機器の故障を防止するために、雷サージ防止付きのコンセント（市販品）に差し込むことをお勧めします。

ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

・外形寸法図は VL-MV38X（電源直結式）です。VL-MV38K（電源コード式）の場合は、電源コードを外すと電源直結式になります。



番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	液晶ディスプレイ	⑤	再生ボタン	⑨	通話ボタン	⑬	銘板
②	新着ありランプ	⑥	モニターボタン	⑩	終了ボタン	⑭	注意ラベル
③	スピーカー音孔	⑦	室内呼ボタン	⑪	リセットボタン	⑮	接続端子
④	マイク音孔	⑧	メニューボタン	⑫	シリアル No. ラベル	⑯	壁掛け金具

仕様

電 源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消 費 電 力	待ち受け時 約 1.2 W、動作時 約 7 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 186 × 143 × 23.5 (突起部除く)
質 量	電源コード式：約 485 g 電源直結式：約 420 g
使用環境条件	周囲温度：0℃～+40℃ 湿度：90%以下
画 面 表 示	約 3.5 型カラー液晶ディスプレイ
通 話 方 式	音声交互自動切替方式
取 付 方 法	露出壁掛け（壁掛け金具付属）
外 観 材 質	難燃性 ABS 樹脂（一部 PS）
外 観 色 調	ホワイト
A 接点出力端子※1	定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

外部入力端子	入力方式	：無電圧メーク接点
	検出確定時間	：0.1 秒以上
外部入力端子	接点抵抗値	：メーク時：500 Ω以下 ブレーク時：15 k Ω以上
	端子間短絡電流	：5 mA 以下
外部入力端子	端子間開放電圧	：DC 7 V 以下
	モニター画面に 映像が映る時間	・着信時：約 30 秒 ・モニター時：約 180 秒 ・通話時：約 120 秒 ・プレストーク通話時：約 120 秒 ・インターホン／ドアホンアダプター 接続電話で通話時：約 120 秒※2

※1 光るチャイムなどを接続したときは、ドアホンから呼び出しがあった場合などに信号を出力します

※2 表示映像は約 120 秒経過後に消灯しますが、通話は継続します。

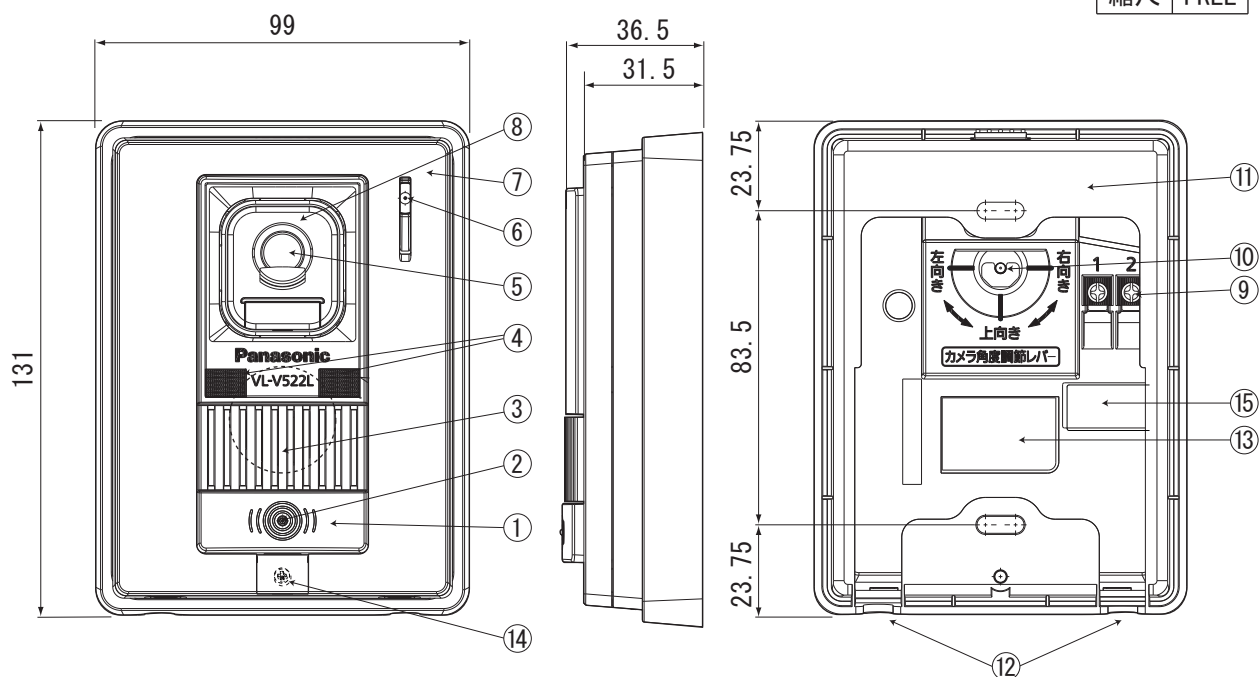
付属品

- ・壁掛金具..... 1
- ・壁掛け用小ねじ（4 mm × 25 mm）..... 2
- ・壁掛け用木ねじ（4 mm × 16 mm）..... 2

外形寸法図／仕様／付属品

セット品番	VL-SV38XL (電源直結式) VL-SV38KL (電源コード式)	品番	VL-MV38X VL-MV38K
品 名	ドアホン親機（モニター親機）		

単位	mm
縮尺	FREE



番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	呼び出しボタン	⑤	カメラ部	⑨	DC 端子金具	⑬	銘板（ラベル）
②	位置表示灯	⑥	マイク部	⑩	カメラ角度調整レバー	⑭	取り付けねじ
③	スピーカー部	⑦	フロントプレート	⑪	露出ケース	⑮	注意ラベル
④	LED ライト（照明用）	⑧	レンズカバー	⑫	水抜き穴（4 カ所）		

■ 仕様

電 源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 131 × 99 × 36.5 (突起部除く)
質 量	約 200 g
外 観 色 調	フロントプレート：シルバー 側面：ブラック
外 観 材 質	難燃樹脂
取 付 方 法	露出型：JIS 1 個用スイッチボックス適合
使用環境条件	周囲温度：－10℃～＋50℃ 湿度：90％以下
最大画角	水平約 87°、垂直約 66°
最低被写体照度	1 ルクス（カメラから約 50 cm 以内）
照 明 方 法	LED ライト（照明用ランプ）、赤外線 LED
防 水 性	IPX3 *

※鉛直から両側に 60° までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

■ 付属品

- 壁掛け用小ねじ 4 mm × 25 mm 2
- 壁掛け用木ねじ 3.8 mm × 20 mm 2

外形寸法図／仕様／付属品			
セット品番	VL-SV38XL(電源直結式) VL-SV38KL(電源コード式)	品番	VL-V522L-S
品 名	ドアホン（カメラ玄関子機）		